

福岡大学 医学会ニュース

No. 61

福岡大学医学会 福岡大学医学部内

研究推進部再編・改革(案)と 医学研究科における研究基盤の確立



福岡大学医学部研究推進部委員
白澤 専 二

研究推進部委員の二期目を務めています。細胞生物学教室の白澤です。研究推進部の活動をあまりご存じでない方もいらっしゃると思います。医学部年報、医学紀要ともに発行所は医学部ではなくて研究推進部であり、医学部の先生も多数出願される特許、学内の競争的研究費に關しまして、研究推進部が中心となって審査をしています。本稿では、現在進行しています福岡大学研究推進部再編・改革(案)と医学部における研究の活性化・若手研究者育成について紹介させていただきます。

再編案としましては、現行の「研究推進部」の『研究支援部門(共

同研究を本旨とする各種研究チームの支援』、『研究開発部門(学外研究機関との共同研究の支援)』、『研究推進部門(競争的研究資金の受入・管理)』、『付置研究所』と『産学官連携推進本部』の『産学官連携センター』、『知的財産センター』をそれぞれ「研究部門」、および、「知財・事業部門」の二部門に再編し、その上部組織として学長、副学長、研究推進部長を構成メンバーとする研究推進本部とすることを考えています。

研究推進部再編・改革(案)の概要

「私立大学学術研究高度化推進事業」の「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」を中心に設置・運営されてきた付置研究所の期限が本年度をもって全て終了することを機会に、

付置研究所から 基盤研究機関へ

「私立大学学術研究高度化推進事業」の「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」を中心に設置・運営されてきた付置研究所の期限が本年度をもって全て終了することを機会に、

新たな枠組みとしての 推奨研究プロジェクト(PJ)の設定

研究機関の再編に伴い、構成員を若手研究者のみで組織する「推奨研究プロジェクト(PJ)」の設定が設置される予定です。PJは、科学研究費補助金または準公的研究費の研究代表者(2-5人の構成員で組織し、発展的研究を展開するものです。この研究は、科研費補助金等の間接経費相当額の一部を、研究費を獲得された先

総合科学研究チーム IVの重点化

劇的に変化したものが、総合科学研究(総合)チームIVです。採択件数がこれまでの二件から五件へ、さらに研究期間は単年度から二年間となり、若手研究者にとっては、採択される可能性の高い魅力的なものになりました。研究グループの全員が四十二歳以下の若手研究者であるという制限があります。研究推進部委員として、総研チームの審査に参加していただければ、福岡大学医学部の研究の将来は楽しみな状況になってきています。

若手研究者育成に よる研究基盤の確立

これまでご紹介しましたように、PJ(若手)の推奨研究プロジェクト(PJ)の設定が、総合科学研究(総合)チームIVです。採択件数がこれまでの二件から五件へ、さらに研究期間は単年度から二年間となり、若手研究者にとっては、採択される可能性の高い魅力的なものになりました。研究グループの全員が四十二歳以下の若手研究者であるという制限があります。研究推進部委員として、総研チームの審査に参加していただければ、福岡大学医学部の研究の将来は楽しみな状況になってきています。

福岡大学医学紀要の 活性化へ

学内誌であります医学紀要について、原稿論文を臨床系の若手の先生方が作られるのは時間的制約もあり、かな

付置研究所を発展的に解散し、本学の研究基盤の中・長期的な構築に資する新たな基盤研究機関を公募・選定し、既存の施設を利用して、重点的研究課題に対する研究機関を新たに設置するというものです。福岡大学でもこの問題を重視し、実現可能な改組案を策定すべく作業部会が設置され、それら

「私立大学学術研究高度化推進事業」の「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」を中

整形外科准教授

伊崎 輝昌



このたび内藤正俊主任教授のご推挙を賜り、平成二十二年四月より准教授に昇格させていただきます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

精神医学准教授

尾籠 晃司



この度、精神医学准教授を拝命いたしました。尾籠晃司です。私は福岡市出身で昭和三十三年生まれです。久留米大学附設高校を卒業後、九州大学医学部を昭和五十八年に卒業し、九州大学精神科(当時中尾弘之教授)に入局しました。九大病院におよび国立福岡中央病院で研修後、昭和六十年、大学院に進み九州大学第二病理(遠城寺宗知教授)で半年間、九州大学脳研病理(立石潤教授)で二年半、石潤教授)で三年半、学ばせていただきました。学位は「老化と脳内アミロイド」というテーマでした。当時アルツハイマー病のβアミロイドのアミノ酸配列の一部のみが明らかになった段階でしたが、それを基に抗体を作成し、免疫組織化学、生化学的研究をし、従来考えられていたよりも若い年齢層からβアミロイド沈着が始まっていることを明らかにしました。この時期にこのような仕事に関わったことは、現在認知症

の臨床に関わっていることに繋がっています。

大学院修了後、平成元年よりドイツのミュンヘン大学神経病理学研究所 (Parviz Mehraein 教授) に留学しました。年間に千数百例の脳が集まる研究所で多くの症例で仕事をさせていただきました。また、ドイツの文化に触れたことはその後の人生を豊かにしてくれました。平成十五年まで勤務しました。この間に、老年精神医学の分野の必要性は高まり、私は主にその分野の仕事をするようになりました。平成十五年より、西村良二教授に誘われていただき、福岡大学精神医学教室に勤務しています。最近の私の臨床は、近隣の医療機関からの紹介を受けて、認知症の早期診断や他の精神疾患との鑑別をすることが主になっています。画像診断も重要であり、毎週症例検討会を行っています。

当教室は伝統的に精神療法をしっかりと学ぶことができるという定評を得ていますが、加えて認知症などの器質性疾患も興味を持って診ることのできる精神科医を沢山育てたいと考えています。

循環器内科准教授

小川 正浩



一九九一年福岡大学医学部を卒業後、福岡大学医学部第二内科に入局し、以後循環器学、不整脈学の研鑽を積みまいりました。朔啓二郎教授にお許しをいただき、二〇〇五年四月より米国 Cedars-Sinai Medical Center に二年間 Indiana University School of Medicine, Krannert Institute of Cardiology に一年間

の計三年間の留学の機会を得ることができました。その間、心不全における不整脈の発生機序と新しい治療の開発に没頭し、ことに自律神経活動と心電図の同時直接記録による正常心・不全心における心臓自律神経活動と心拍不整脈との関連の解明、また Optical Mapping System を用いた不全心における膜電位と細胞内カルシウム動態と不整脈発生機序の解明、星状神経節アブレーションによる新しい心不全治療の開発に力を注いで参りました。二〇〇八年四月より帰学し、循環器学、主に不整脈

の計三年間の留学の機会を得ることができました。その間、心不全における不整脈の発生機序と新しい治療の開発に没頭し、ことに自律神経活動と心電図の同時直接記録による正常心・不全心における心臓自律神経活動と心拍不整脈との関連の解明、また Optical Mapping System を用いた不全心における膜電位と細胞内カルシウム動態と不整脈発生機序の解明、星状神経節アブレーションによる新しい心不全治療の開発に力を注いで参りました。二〇〇八年四月より帰学し、循環器学、主に不整脈

の計三年間の留学の機会を得ることができました。その間、心不全における不整脈の発生機序と新しい治療の開発に没頭し、ことに自律神経活動と心電図の同時直接記録による正常心・不全心における心臓自律神経活動と心拍不整脈との関連の解明、また Optical Mapping System を用いた不全心における膜電位と細胞内カルシウム動態と不整脈発生機序の解明、星状神経節アブレーションによる新しい心不全治療の開発に力を注いで参りました。二〇〇八年四月より帰学し、循環器学、主に不整脈

薬理学教室は昭和四十九年に初代古川達雄教授により開講され、平成九年から桂木猛教授が引き継がれ、そして現在、三代目の岩本隆宏教授(平成十九年四月就任)のもと、学部生・大学院生の教育や循環器系を中心とした様々な研究に取り組んでいます。現在のスタッフは岩本教授、山本信太郎准教授、喜多紗斗美講師、伊豫田拓也助教、山田敏樹助教、佐藤陽子准教授の六名で、若手メンバーにより構成されています。

明確な問題意識を持って貰うために、課題演習や実習などに力を注いだ新しい試みを実施しています。その一つとして、平成二十年度より Pdrug (Personal Drug) の手法を医学部三年生向けに改良し、薬物治療の課題演習として導入しています。Pdrug の概念は、WHO による Guide to Good Prescribing として出版されており、個々の医師が科学的根拠に基づいて四つのクラテリア(有効性、安全性、適切性、費用)に従って医薬品を選択し、患者に与える情報を含めて自分の処方集を作成する、という薬物選択の一連の過程を含む概念です。Pdrug の概念を学

加することにより、「知識が臨床にどう結びつくのか」を考えることができた「授業の理解が深まった」など好評をいただいております。今後は、現在の講義・実習の質を高めていくとともに、さらに学習意欲を掻き立てる教育方法を提案していきたいと考えています。研究では、主にイオン輸送体(トランスポーターやチャネル)やその関連タンパク質を分子標的とした研究を行っています。分子生物学的・臨床医学・医療の向上に貢献したいと考えています。(文責 喜多 紗斗美)



教室紹介 薬理学

整形外科の臨床を担当させていただきます。平成十八年からは内藤正俊教授の主宰される整形外科教室で臨床と研究の機会を与えていただきました。福岡大学筑紫病院整形外科教授に就任された柴田陽三先生に肩関節の指導を受け、平成二十年十月から肩関節診療のチーフをさせていただきます。私は入局以来、肩関節疾患の病態解明と治療をテーマに研究を行っております。肩関節領域で遭遇する機会の多い「腱板断裂」や「肩関節周囲炎」、「反復性肩関節脱臼」などの疾患が、脱臼などの疾患が、患者さんの関心はますます大きくなっています。これら疾患に對して、内視鏡技術を駆使した低侵襲な治療を提供しております。患者さんの良好な QOL の改善、維持を目的とした医療を提供するための臨床研究はもとより、学生教育、教室員への技術指導などを積極的に行う所存でございます。

新たな決意のもと、微力ながら誠意努力してまいります。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

この間の研究で日本肩関節学会賞(第七回高岸賞)、平成十一年福岡大学医学会優秀論文賞を受賞する栄誉に預かりました。平成十二年からは松崎昭夫教授のもと筑紫病院整形外科で、肩関節外科と脊椎外科の臨床を担当させていただきます。

この間の研究で日本肩関節学会賞(第七回高岸賞)、平成十一年福岡大学医学会優秀論文賞を受賞する栄誉に預かりました。平成十二年からは松崎昭夫教授のもと筑紫病院整形外科で、肩関節外科と脊椎外科の臨床を担当させていただきます。

この間の研究で日本肩関節学会賞(第七回高岸賞)、平成十一年福岡大学医学会優秀論文賞を受賞する栄誉に預かりました。平成十二年からは松崎昭夫教授のもと筑紫病院整形外科で、肩関節外科と脊椎外科の臨床を担当させていただきます。



消化器内科准教授

早田 哲郎



今年四月一日付けで准教授に昇格させてい

留学期間は半年と短か

外科医、消化器外科医

血液製剤の使用、輸血

一九九五年福岡大学



阿南 章

私は、昭和五十七年

山下教授、比嘉教授

輸血部長井手口裕先

私は大分市出身で、

二〇〇四年から二年間、



星野 誠一郎

消化器外科准教授

輸血部では福岡大学

同病棟でしたので、

大学院に進学しました

指導にあたっては

この方法を朝に夕に試行

田村和夫教授が

期待できる科となりま

かし力不足は否めませ
ん。これからの日々
の診療はもろろん
の発展や教育にも
医局の発展や教育にも
できる範囲で努力して
いく所存です。近年肝
臓病の分野では、ウイ
ルス肝炎に対する新薬
の開発がめざましく、
これから十年の間にダ
イナミックに診療が変
わっていくものと思わ
れます。また肝臓は、
物質の製造、貯蔵、排
泄、また自身の再生能
力と、さまざまな働き
をもっているため、臨
床、基礎研究の両分野
で大変興味の尽きない
魅力ある臓器です。こ
れからも研究室の先輩
後輩の先生方と大いに
議論しながら楽しく診
療できればと思ってい
ますので、どうぞよろ
しくお願ひ致します。

る活性酸素が、アルコ
ール性肝障害を引き起
こす」という内容でし
た。現看護学校教授の
朝倉書店の内科学
「腹部膨隆」、「くも状
血管腫・手掌紅斑」
と、大学周辺の道幅が
広がり、学生時代に将
来の計画として、半信
半疑で予定図をみた記
憶のある外環状線と福
岡大トンネルや地下鉄
七隈線が完成間近であ
り、また海の家があっ
た百道の浜が埋め立て
られて海岸線がはるか
彼方に後退していたこ
とに驚きました。腎臓
移植に特に興味を持つ
ております。移植医療
は臓器提供者が不可欠
な医療ですから移植医
療の啓発活動など、患
者さんとの関係の他に
社会との関わりが重要
となります。それだけ
多くの人たちの繋が
りが広がり、移植医療
の魅力のひとつです。
お月様が満ち欠けする
様に移植医療を通じて
の苦い経験もしました。
様々なストレスがある
ものの腎臓移植の成績の
最近の目覚ましい向上
により、ほぼすべての
腎臓移植患者さんは見違
えるように元気となり
再び社会で活躍し始め
ます。その患者さん方
に接すると、まさにや
りがいを感じます。腎
臓移植手術後に膀胱留置
カテーテルを伝って蓄
尿バックに出てくる尿

日本肝臓移植研究会を福
岡で開催します。
おもひで
井吉野の桜吹雪を懐か
しく感じておりました。
久しぶりに福岡に帰る
と、大学周辺の道幅が
広がり、学生時代に将
来の計画として、半信
半疑で予定図をみた記
憶のある外環状線と福
岡大トンネルや地下鉄
七隈線が完成間近であ
り、また海の家があっ
た百道の浜が埋め立て
られて海岸線がはるか
彼方に後退していたこ
とに驚きました。腎臓
移植に特に興味を持つ
ております。移植医療
は臓器提供者が不可欠
な医療ですから移植医
療の啓発活動など、患
者さんとの関係の他に
社会との関わりが重要
となります。それだけ
多くの人たちの繋が
りが広がり、移植医療
の魅力のひとつです。
お月様が満ち欠けする
様に移植医療を通じて
の苦い経験もしました。
様々なストレスがある
ものの腎臓移植の成績の
最近の目覚ましい向上
により、ほぼすべての
腎臓移植患者さんは見違
えるように元気となり
再び社会で活躍し始め
ます。その患者さん方
に接すると、まさにや
りがいを感じます。腎
臓移植手術後に膀胱留置
カテーテルを伝って蓄
尿バックに出てくる尿

を飽きる事なく眺め、
堪らない喜びを感じる
ようになったら、あな
たも腎臓移植グループの
一員です。
筑紫病院脳神経外科講師
堤 正則
経験させて頂きました。
平成十二年に日本脳神
経外科学会専門医の資
格を修得し、その後、
縁あって平成十三年に
福岡大学筑紫病院脳神
経外科に赴任しました。
その後は、脳神経外科
臨床に従事する傍ら脳
血管内治療を中心とし
た臨床研究を行ってき
ました。平成十九年に
椎骨動脈起始部狭窄症
に対するステント治療に
関する研究で学位を修
得しました。その後も
主に脳動脈瘤塞栓術や
頸動脈ステント治療に
対する臨床研究を行っ
ており、平成二十一年に
は日本脳神経血管内治
療学会の指導医の資格
を修得しました。今後
も直達手術および血管
内治療の両立を基本と
した臨床活動を行いな
がら、研究を続けてい
きたいと考えています。
特に今後は、症例数が
激増しつつある虚血性
神経疾患に対する治療
に力注いでおり、でき
る限り多くの手術の執
行を経験させ、積極的に
学会発表や論文発表に
取り組んでいきます。また
他施設からの多数の専
門医が研修に訪れてい
ることも特徴です。医局
内では常に外からの新た
な刺激を得ることができ
互いに切磋琢磨できる
環境にあります。これま
でに私を教育して下さい
た諸先輩方の技術を更
に発展させ、多くの後輩
や他施設の医師に伝授し
共々日々向上を目指し
ていきたいと考えています。



堤 正則

このたび、風川 清教
授の御推挙により、平
成二十二年四月から、
福岡大学筑紫病院脳神
経外科の講師を拝命致
します。私は、平成
六年佐賀医科大学医学
部卒業、卒業後は佐
賀医科大学附属病院と
その関連施設において脳
神経外科一般の臨床を
経験させて頂きました。
平成十二年に日本脳神
経外科学会専門医の資
格を修得し、その後、
縁あって平成十三年に
福岡大学筑紫病院脳神
経外科に赴任しました。
その後は、脳神経外科
臨床に従事する傍ら脳
血管内治療を中心とし
た臨床研究を行ってき
ました。平成十九年に
椎骨動脈起始部狭窄症
に対するステント治療に
関する研究で学位を修
得しました。その後も
主に脳動脈瘤塞栓術や
頸動脈ステント治療に
対する臨床研究を行っ
ており、平成二十一年に
は日本脳神経血管内治
療学会の指導医の資格
を修得しました。今後
も直達手術および血管
内治療の両立を基本と
した臨床活動を行いな
がら、研究を続けてい
きたいと考えています。
特に今後は、症例数が
激増しつつある虚血性
神経疾患に対する治療
に力注いでおり、でき
る限り多くの手術の執
行を経験させ、積極的に
学会発表や論文発表に
取り組んでいきます。また
他施設からの多数の専
門医が研修に訪れてい
ることも特徴です。医局
内では常に外からの新た
な刺激を得ることができ
互いに切磋琢磨できる
環境にあります。これま
でに私を教育して下さい
た諸先輩方の技術を更
に発展させ、多くの後輩
や他施設の医師に伝授し
共々日々向上を目指し
ていきたいと考えています。

このたび、風川 清教
授の御推挙により、平
成二十二年四月から、
福岡大学筑紫病院脳神
経外科の講師を拝命致
します。私は、平成
六年佐賀医科大学医学
部卒業、卒業後は佐
賀医科大学附属病院と
その関連施設において脳
神経外科一般の臨床を
経験させて頂きました。
平成十二年に日本脳神
経外科学会専門医の資
格を修得し、その後、
縁あって平成十三年に
福岡大学筑紫病院脳神
経外科に赴任しました。
その後は、脳神経外科
臨床に従事する傍ら脳
血管内治療を中心とし
た臨床研究を行ってき
ました。平成十九年に
椎骨動脈起始部狭窄症
に対するステント治療に
関する研究で学位を修
得しました。その後も
主に脳動脈瘤塞栓術や
頸動脈ステント治療に
対する臨床研究を行っ
ており、平成二十一年に
は日本脳神経血管内治
療学会の指導医の資格
を修得しました。今後
も直達手術および血管
内治療の両立を基本と
した臨床活動を行いな
がら、研究を続けてい
きたいと考えています。
特に今後は、症例数が
激増しつつある虚血性
神経疾患に対する治療
に力注いでおり、でき
る限り多くの手術の執
行を経験させ、積極的に
学会発表や論文発表に
取り組んでいきます。また
他施設からの多数の専
門医が研修に訪れてい
ることも特徴です。医局
内では常に外からの新た
な刺激を得ることができ
互いに切磋琢磨できる
環境にあります。これま
でに私を教育して下さい
た諸先輩方の技術を更
に発展させ、多くの後輩
や他施設の医師に伝授し
共々日々向上を目指し
ていきたいと考えています。

放射線医学

◆IVR(インターベンシ
ョン・ラジオロジー)
血管系IVRは、国内でも
有数の実績を誇り、肝細胞
癌に対するTACE、リザ
ーブ留置術、肝切除術前
の経皮経肝的門脈塞栓術、
緊急症例に対するTACE、
BRTOなどを行っています。
豊富な臨床データを基
に臨床研究を行っています。
◆核医学部門
現在、PET-CT装置一
台、三検出器型SPECT
装置一台、ガンマカメラ一
台が設置され、年間約三〇
〇〇例の検査を施行してい
ます。診療内容は核医学全
般をカバーしていますが、
PET-CTを用いた腫瘍
の診断、脳血流SPECT
を用いた脳血管障害や認知
症の診断、心筋SPECT
による虚血性心疾患の診断
腎シンチグラフィによる先
天性泌尿器疾患の診断など
を行っています。また、パ
セドウ病に対する放射性ヨ
ード治療やメタストロン(S

消化器内科講師
竹山 康章
一九六五年生まれ、
西南学院中学、高校卒。
一九九二年福岡大学医
学部卒業後、福岡大学
医学部第一内科(奥村
教授、その後田村教授)
入局。一九九八年福岡
大学医学部大学院卒業、
Kupffer細胞の産生す
る活性酸素が、アルコ
ール性肝障害を引き起
こす」という内容でし
た。現看護学校教授の
朝倉書店の内科学
「腹部膨隆」、「くも状
血管腫・手掌紅斑」
と、大学周辺の道幅が
広がり、学生時代に将
来の計画として、半信
半疑で予定図をみた記
憶のある外環状線と福
岡大トンネルや地下鉄
七隈線が完成間近であ
り、また海の家があっ
た百道の浜が埋め立て
られて海岸線がはるか
彼方に後退していたこ
とに驚きました。腎臓
移植に特に興味を持つ
ております。移植医療
は臓器提供者が不可欠
な医療ですから移植医
療の啓発活動など、患
者さんとの関係の他に
社会との関わりが重要
となります。それだけ
多くの人たちの繋が
りが広がり、移植医療
の魅力のひとつです。
お月様が満ち欠けする
様に移植医療を通じて
の苦い経験もしました。
様々なストレスがある
ものの腎臓移植の成績の
最近の目覚ましい向上
により、ほぼすべての
腎臓移植患者さんは見違
えるように元気となり
再び社会で活躍し始め
ます。その患者さん方
に接すると、まさにや
りがいを感じます。腎
臓移植手術後に膀胱留置
カテーテルを伝って蓄
尿バックに出てくる尿

放射線科医と放射線科を
ローテートする臨床研修
医が常時一〜二名研修し
ています。さらに、核医
学専門医、PET核医学
認定医放射線治療専門医
IVR専門医などを目指
し、修練を行っています。
放射線科、もしくは放射
線医学は現代医療のほほ
すべての分野において各
科と深く関わり、診療面
においては病院中央部門・
放射線部の担当科として
無くてはならないポジシ
ョンを占めています。当
福岡大学医学部放射線医
学教室は、放射線医学の
すべての分野に第一線で
活躍するエキスパートを
配し、高度な医療を提供
しているだけでなく、放
射線科専門医教育の最良
の場として新たなスター
トを踏み出したところで
す。



竹山 康章

一九六五年生まれ、
西南学院中学、高校卒。
一九九二年福岡大学医
学部卒業後、福岡大学
医学部第一内科(奥村
教授、その後田村教授)
入局。一九九八年福岡
大学医学部大学院卒業、
Kupffer細胞の産生す
る活性酸素が、アルコ
ール性肝障害を引き起
こす」という内容でし
た。現看護学校教授の
朝倉書店の内科学
「腹部膨隆」、「くも状
血管腫・手掌紅斑」
と、大学周辺の道幅が
広がり、学生時代に将
来の計画として、半信
半疑で予定図をみた記
憶のある外環状線と福
岡大トンネルや地下鉄
七隈線が完成間近であ
り、また海の家があっ
た百道の浜が埋め立て
られて海岸線がはるか
彼方に後退していたこ
とに驚きました。腎臓
移植に特に興味を持つ
ております。移植医療
は臓器提供者が不可欠
な医療ですから移植医
療の啓発活動など、患
者さんとの関係の他に
社会との関わりが重要
となります。それだけ
多くの人たちの繋が
りが広がり、移植医療
の魅力のひとつです。
お月様が満ち欠けする
様に移植医療を通じて
の苦い経験もしました。
様々なストレスがある
ものの腎臓移植の成績の
最近の目覚ましい向上
により、ほぼすべての
腎臓移植患者さんは見違
えるように元気となり
再び社会で活躍し始め
ます。その患者さん方
に接すると、まさにや
りがいを感じます。腎
臓移植手術後に膀胱留置
カテーテルを伝って蓄
尿バックに出てくる尿

放射線科医と放射線科を
ローテートする臨床研修
医が常時一〜二名研修し
ています。さらに、核医
学専門医、PET核医学
認定医放射線治療専門医
IVR専門医などを目指
し、修練を行っています。
放射線科、もしくは放射
線医学は現代医療のほほ
すべての分野において各
科と深く関わり、診療面
においては病院中央部門・
放射線部の担当科として
無くてはならないポジシ
ョンを占めています。当
福岡大学医学部放射線医
学教室は、放射線医学の
すべての分野に第一線で
活躍するエキスパートを
配し、高度な医療を提供
しているだけでなく、放
射線科専門医教育の最良
の場として新たなスター
トを踏み出したところで
す。

一九六五年生まれ、
西南学院中学、高校卒。
一九九二年福岡大学医
学部卒業後、福岡大学
医学部第一内科(奥村
教授、その後田村教授)
入局。一九九八年福岡
大学医学部大学院卒業、
Kupffer細胞の産生す
る活性酸素が、アルコ
ール性肝障害を引き起
こす」という内容でし
た。現看護学校教授の
朝倉書店の内科学
「腹部膨隆」、「くも状
血管腫・手掌紅斑」
と、大学周辺の道幅が
広がり、学生時代に将
来の計画として、半信
半疑で予定図をみた記
憶のある外環状線と福
岡大トンネルや地下鉄
七隈線が完成間近であ
り、また海の家があっ
た百道の浜が埋め立て
られて海岸線がはるか
彼方に後退していたこ
とに驚きました。腎臓
移植に特に興味を持つ
ております。移植医療
は臓器提供者が不可欠
な医療ですから移植医
療の啓発活動など、患
者さんとの関係の他に
社会との関わりが重要
となります。それだけ
多くの人たちの繋が
りが広がり、移植医療
の魅力のひとつです。
お月様が満ち欠けする
様に移植医療を通じて
の苦い経験もしました。
様々なストレスがある
ものの腎臓移植の成績の
最近の目覚ましい向上
により、ほぼすべての
腎臓移植患者さんは見違
えるように元気となり
再び社会で活躍し始め
ます。その患者さん方
に接すると、まさにや
りがいを感じます。腎
臓移植手術後に膀胱留置
カテーテルを伝って蓄
尿バックに出てくる尿

放射線科医と放射線科を
ローテートする臨床研修
医が常時一〜二名研修し
ています。さらに、核医
学専門医、PET核医学
認定医放射線治療専門医
IVR専門医などを目指
し、修練を行っています。
放射線科、もしくは放射
線医学は現代医療のほほ
すべての分野において各
科と深く関わり、診療面
においては病院中央部門・
放射線部の担当科として
無くてはならないポジシ
ョンを占めています。当
福岡大学医学部放射線医
学教室は、放射線医学の
すべての分野に第一線で
活躍するエキスパートを
配し、高度な医療を提供
しているだけでなく、放
射線科専門医教育の最良
の場として新たなスター
トを踏み出したところで
す。

各部門とも放射線科ローテ
ーションの一環として、放
射線科専門医を目指す若い
文責 藤光 浦川 博史

祝「第12回福岡大学医学会賞」



講演された先生方を囲んで
(左から 吉里先生、白澤先生、藤本先生、川上先生、岩崎先生、黒木医学会会長、三宅先生)

金賞(1名)

藤本 崇宏
Altered Energy Homeostasis and Resistance to Diet-Induced Obesity in *KRAP*-Deficient Mice

銀賞(2名)

五十音順

川上 豪仁
Small cluster invasion : a possible link between micropapillary pattern and lymph node metastasis in pT1 lung adenocarcinomas

深見 達弥
Amphiregulin regulates the production of human chorionic gonadotropin in trophoblasts

お知らせ 10月から筑紫病院の診療科名が変わりました。

新	旧
循環器内科	内科第一
内分泌・糖尿病内科	内科第二
呼吸器内科	
消化器内科	消化器科
耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉科

長い間 ありがとうございました

(平成22年3月31日付けで退職された方)

- 岩崎 敬雄 准教授 (リハビリテーション部)
- 篠原 徹雄 講師 (消化器外科学)
- 大城 真也 講師 (脳神経外科)
- 豊島 秀夫 講師 (呼吸器内科)
- 吉田 茂生 講師 (筑紫病院眼科)



医師国家試験結果報告

第104回医師国家試験(2月13日~15日実施)に113人が受験し、88名(新卒81名・既卒7名)が合格しました。(合格率77.9%)

福岡大学医学会 第62回例会および第33回総会(報告)

日時/平成22年10月14日(木) 17時~19時10分
場所/医学部臨床大講堂

1. 第62回福岡大学医学会例会 【進行】 集会幹事 三宅 吉博
 - 1) 開会の辞 集会幹事 三宅 吉博
 - 2) 会長挨拶 医学部長 黒木 政秀
 - 3) 第12回福岡大学医学会賞受賞論文講演
 - 講演① 講演者…藤本 崇宏 座長…白澤 専二
 - 講演② 講演者…深見 達弥 (代理:吉里俊幸)
 - 講演③ 講演者…川上 豪仁 座長…岩崎 昭憲
 - 4) 第12回福岡大学医学会賞金賞論文投票
 - 5) 新任教授講演 座長…黒木 政秀
 - 講演① 講演者…鍋島 一樹 (病理学教授) 「がん細胞の浸潤&研究室紹介」
 - 講演② 講演者…永田 忍彦 (筑紫病院呼吸器内科) 「間質性肺炎の臨床と病理、栄養と結核の臨床」
2. 第33回福岡大学医学会総会
 - 1) 議 事 【進行】 庶務幹事 井上 隆司
 - ① 報告事項
 - ② 平成21年度会計報告および平成22年度予算案
 - ③ その他
 - 2) 第12回福岡大学医学会賞授賞式 【進行】 集会幹事 三宅 吉博
 - ① 開票結果発表
 - ② 授賞式
 - 3) 閉会の辞 集会幹事 三宅 吉博

学位取得

次の方は、平成22年3月23日付けで福岡大学より医学博士を授与されました。

課程修了による学位取得者

- | | |
|-----------------|------------------|
| 瓦林 靖広 (人間生物系専攻) | 内田 直樹 (社会医学系専攻) |
| 吉村 力 (感染生物系専攻) | 田中真理子 (社会医学系専攻) |
| 池田 文明 (病態構造系専攻) | 松尾 美希 (病態生化学系専攻) |
| 平野 公一 (病態構造系専攻) | 濱中和嘉子 (病態生化学系専攻) |
| 井上 浩利 (病態構造系専攻) | 棟近 孝之 (病態生化学系専攻) |
| 伊藤 健二 (病態構造系専攻) | 池 周而 (病態生化学系専攻) |
| 高森 義博 (病態機能系専攻) | 下條 三和 (病態生化学系専攻) |
| 竹山 明德 (病態機能系専攻) | 高比良誠也 (病態生化学系専攻) |
| 寺谷 威 (病態機能系専攻) | 塚原ひとみ (病態生化学系専攻) |
| 高橋 宏昌 (病態機能系専攻) | |

論文提出による学位取得者

- 赤木 隆紀 (呼吸器内科 助教)
- 村上 右児 (学外者)
- 森原 大輔 (消化器内科学 研究員)

